

PHOTOGRAPH
戦闘から逃れてイラクの難民キャンプに
避難しているシリア難民。

©WFP/Marco Frattini

国連WFPとは

国連 WFP は、飢餓と貧困の撲滅を使命に活動する国連の食糧支援機関です。自然災害や紛争の被災者、妊婦や授乳中の母親、栄養不良の子ども、遺児、病人、老人など最も貧しい暮らしを余儀なくされている人を対象に食糧支援を行っています。2013 年は 75 カ国で 8,090 万人に食糧支援を実施しました。国連 WFP の活動資金は、各国政府からの任意拠出金と民間企業や団体、個人からの寄付でまかなわれています。

国連WFPは、国連機関であるWFP 国連世界食糧計画と、それを支援する認定NPO法人である国連WFP協会という2つの団体の総称です。国連WFP協会は、募金活動、企業・団体との協力関係の推進、および広報活動を実施しています。国連WFP協会は、1999年に設立され、2005年に「認定NPO法人」として国税庁の認定を受けており、国連WFPへの寄付金は、税制上の優遇措置が受けられます。

CONTENTS

目次

- 02 ご挨拶
- 03 会計報告
- 05 ご寄付の用途レポート
- 11 企業・団体の皆様からのご支援
- 13 支援を広げるための取り組み

ご挨拶

日頃より国連WFPの活動に対しご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。2013年、国連WFPは皆様からのご支援を受けながら、各国で食糧支援活動を行ってまいりました。

地球上ではおよそ9人に1人、8億500万人が飢餓に苦しんでいます。いま、世界では甚大な被害をもたらす大規模な台風や洪水、干ばつ、地震などの自然災害が多発しています。また、各国・地域で頻発している紛争や戦闘で多くの人が避難を余儀なくされており、国連WFPの緊急食糧支援の重要性はますます高まっています。

私は、2012年12月に巨大台風襲われたフィリピン・ミンダナオ島東部の被災地を2013年4月に訪問しました。訪れた小学校では、国連WFPが提供した米や親たちから提供された野菜で作られた給食を子どもたちが嬉しそうに食べる姿を見ることができました。また国連WFPの支援を受けながら被災者の方々が再建したバナナ農園や水田を目にして、住民の方々の努力に感銘を受けると共に、被災者の方々から口々に感謝の言葉をいただき、支援が確実に役立っていると再認識いたしました。

人びとが飢餓で苦しむことがないようにとの思いで皆様から届けられるご支援は、現地で懸命に生きる人びとを支え、将来への希望に繋がっています。皆様のご協力を通じて、2013年に国連WFPがどのような支援を実施したかを本書にてご報告いたしますので、ご確認いただければと存じます。飢餓の撲滅には、私たち一人一人がそれに向けて真剣に取り組むことが何より大切です。今後も皆様からの支えを糧に国連WFP職員一同尽力してまいりますので、引き続き貴重なお力添えを賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



特定非営利活動法人
国連WFP協会

会長 安藤宏基

2013年を振り返って

シリア 緊急食糧支援



2011年3月のシリア危機発生以来、2013年も戦闘は収まる気配を見せず、およそ650万人が国内各地へ、220万人以上が周辺国に逃れました。国連WFPはシリア各地へ避難した約370万人の人びとに食糧を届け、また周辺5カ国に逃れた人びとには食糧もしくは食糧引換券を配布しました。

フィリピン 台風緊急支援



11月8日、フィリピン中東部の島々を猛烈な台風が襲い、およそ1,400万人が被災するなど甚大な被害が発生しました。国連WFPは緊急食糧支援を実施すると共に物流網や通信網の整備にも取り組みました。その後も急ピッチで活動を拡大し、食糧支援、母子への栄養強化支援、復興に向けた支援等を行いました。

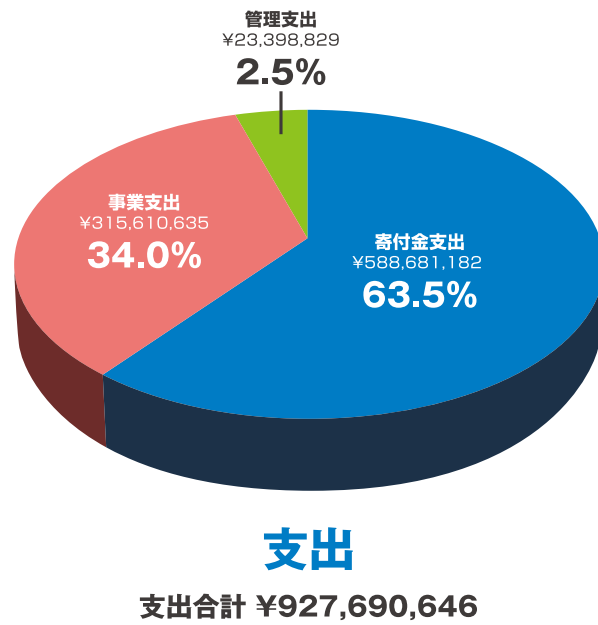
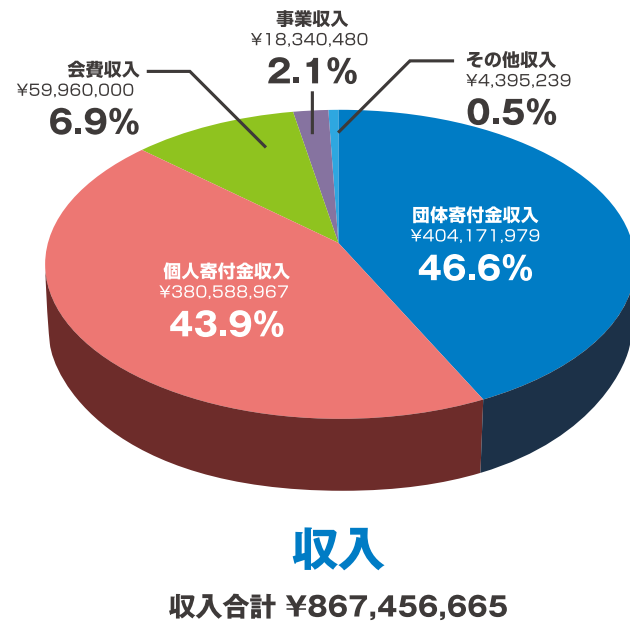
会計報告

日頃より、国連WFPの活動をご支援いただき、誠にありがとうございます。2013年度(2013年1月～12月)に国連WFP協会に寄せられた企業・団体、個人の皆様からの現金でのご寄付は、合計で7億8,476万946円となり、多大なご支援を賜ることができました。改めてご協力に感謝申し上げますとともに、引き続き国連WFPへのご支援を賜りますよう、お願い申し上げます。

注)ご寄付の75%以上は国連WFPローマ本部に送金され、国連WFPの活動に使用されています。ご寄付の25%(上限)は、国内での募金活動、広報宣伝費、管理費等の運営経費に充てています。

2013年度収支

会費収入・事業収入・その他収入と寄付金収入の一部は、国連WFP協会が国内で行う諸活動の経費に充てられます。



情報公開と監査報告

国連WFP協会は、法人の監事が内部監査を行うとともに、監査法人に依頼して外部監査を受けています。活動報告書や決算報告書は、監督官庁である横浜市や国税庁に提出され、またウェブサイトにも掲載されています。

<http://ja.wfp.org/jawfp/annual-reports>



2013年度 決算報告

活動計算書

2013年1月1日から2013年12月31日まで

科目	金額 (単位:円)
I 経常収益	
1 受取会費	評議会費 57,700,000 賛助会費団体 550,000 賛助会費一般 1,692,000 賛助会費学生 18,000
小計	59,960,000
2 事業収益	(1) 普及啓発事業 送料負担 11,220 謝金・講演料 143,360 ハンガーマップ 73,800 その他収入 100,000
	(2) 協力事業 協賛金 16,100,000 参加・出展料 1,912,100
小計	18,340,480
3 受取寄付金	一般 784,760,946
小計	784,760,946
4 その他収益	受取利息 2,459 雑収入 264,032 受取配当金 4,128,748
小計	4,395,239
経常収益計	867,456,665
II 経常費用	
1 事業費	(1) 人件費 給料手当 55,928,307 法定福利費 8,941,854 委託費 151,753,726 福利厚生費 118,105
人件費計	216,741,992
	(2) その他経費 会議費 3,554 接待交際費 5,000 旅費交通費 6,504,070 通信運搬費 1,821,142 消耗品費 383,375 保守料 1,877,962 印刷製本費 22,265,565 宣伝広告費 40,675,631 新聞図書費 142,821 支払手数料 8,616,049 協力事業費 16,570,834 雑費 2,640 寄付金支出 588,681,182
その他経費計	687,549,825
事業費計	904,291,817
2 管理費	(1) 人件費 給料手当 8,091,568 法定福利費 1,112,055 委託費 2,658,872 福利厚生費 9,083
人件費計	11,871,578
	(2) その他経費 会議費 409,950 旅費交通費 269,203 通信運搬費 2,428,437 消耗品費 1,193,059 保守料 1,134,060 新聞図書費 82,607 賃借料 16,128 保険料 600 租税公課 627,395 支払手数料 716,894 諸報酬料 2,668,546 雑費 199,395 商標権減価償却額 77,984 什器品減価償却額 699,298 ソフトウェア減価償却額 1,003,695
その他経費計	11,527,251
管理費計	23,398,829
経常費用計	927,690,646
当期正味財産増減額	△60,233,981
前期繰越正味財産額	252,212,879
次期繰越正味財産額	191,978,898

貸借対照表

2013年12月31日現在

科目	金額 (単位:円)
I 資産の部	
1 流動資産	現金預金 282,235,942 前払金 2,100 未収金 301,240
流動資産合計	282,539,282
2 固定資産	(1) 有形固定資産 什器備品 1,642,975
有形固定資産合計	1,642,975
	(2) 無形固定資産 商標権 649,867 ソフトウェア 4,906,782
無形固定資産合計	5,556,649
	(3) 投資その他の資産 投資有価証券 39,699,500
投資その他の資産合計	39,699,500
固定資産合計	46,899,124
資産合計	329,438,406
II 負債の部	
1 流動負債	未払金 136,641,532 預り金 193,476 未払消費税等 624,500
流動負債合計	137,459,508
負債合計	137,459,508
III 正味財産の部	
	前期繰越正味財産 252,212,879 当期正味財産増減額 △60,233,981
正味財産合計	191,978,898
負債及び正味財産合計	329,438,406

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

財務諸表の作成は、NPO法人会計基準(2010年7月20日 2011年11月20日一部改正NPO法人会計基準協議会)によっています。

- 固定資産の減価償却の方法
定額法による減価償却を実施し、直接法で表示しています。
- 有価証券の評価基準及び評価方法
その他の有価証券
時価のないもの…移動平均法による原価法によっております。
- 消費税等の会計処理
消費税等の会計処理は税込経理方式によっています。

2. 固定資産の増減内訳

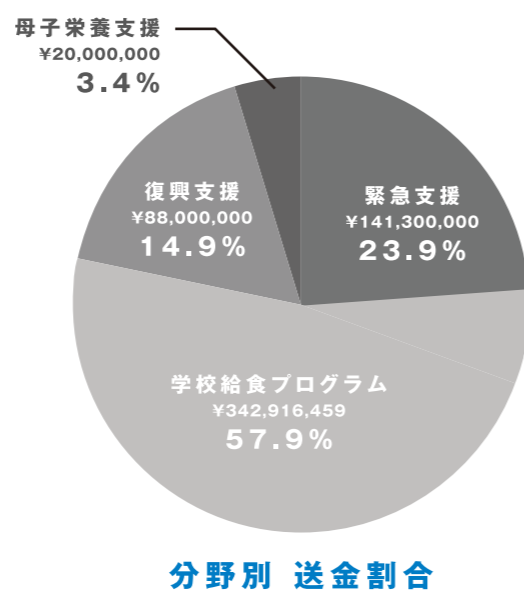
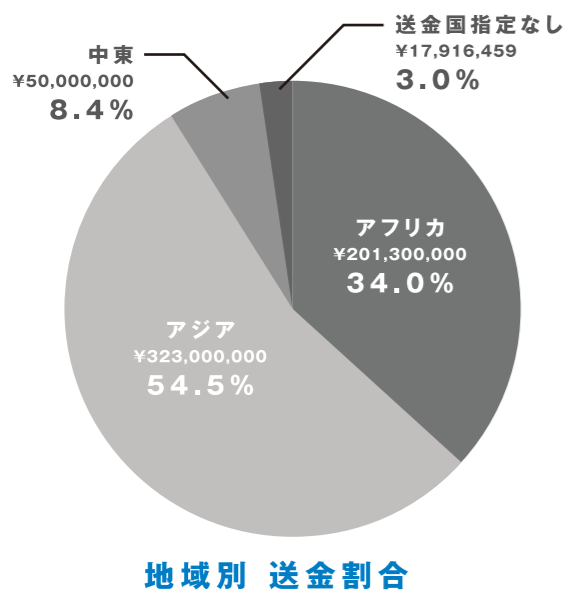
(単位:円)

科目	什器備品	商標権	ソフトウェア	合計
期首取得価額	3,850,328	779,840	3,957,712	8,587,880
増加	-	-	3,465,000	3,465,000
減少	-	-	-	-
期末取得価額	3,850,328	779,840	7,422,712	12,052,880
減価償却累計額	2,207,353	129,973	2,515,930	4,853,256
期末帳簿価額	1,642,975	649,867	4,906,782	7,199,624

ご寄付の使途レポート

2013年の1月から12月の間に、皆様からいただいた寄付金の合計は7億8,476万946円でした。そのうち5億9,221万6,459円の送金を実施しました。その使途および送金先の状況についてご報告します。各支援活動の内容は、次ページ以降をご覧ください。

		金額 (単位:円)
アフリカ		
エチオピア	復興支援	40,000,000
ガーナ	学校給食プログラム	15,000,000
シエラレオネ	学校給食プログラム	20,000,000
スワジランド	学校給食プログラム	15,000,000
セネガル	学校給食プログラム	30,000,000
中央アフリカ	緊急支援	31,300,000
ブルキナファソ	復興支援	20,000,000
ブルンジ	学校給食プログラム	30,000,000
アジア		
カンボジア	学校給食プログラム	30,000,000
タジキスタン	復興支援	28,000,000
ネパール	母子栄養支援	20,000,000
バングラデシュ	学校給食プログラム	10,000,000
フィリピン	緊急支援	90,000,000
ブータン	学校給食プログラム	65,000,000
ミャンマー	学校給食プログラム	30,000,000
ラオス	学校給食プログラム	50,000,000
中東		
イエメン	学校給食プログラム	30,000,000
シリア	緊急支援	20,000,000
送金国指定なし	学校給食プログラム	17,916,459
総計		592,216,459



注)ご寄付の75%以上は国連WFPローマ本部に送金され、国連WFPの活動に使用されています。ご寄付の25%(上限)は、国内での募金活動、広報宣伝費、管理費等の運営経費に充てています。

フィリピン台風 緊急支援

2013年11月8日、フィリピンを史上最大級の台風が襲い、国民の7人に1人に当たる1,400万人が被災しました。国連WFPは台風上陸前から緊急支援の準備を進め、上陸翌日には職員が現地入り。直後より支援活動を開始しました。また国連WFP協会は緊急支援募金を実施し、2014年3月までに合計9,000万円を送金しました。国連WFPが行った支援活動の概要は以下の通りです。

食糧配給

即座に緊急食糧支援を開始し、フィリピン社会福祉開発省や他の国連機関、NGOとの協働で、約300万人の人びとに米や栄養強化食品などを届けました。



緊急現金支援

台風により農業や漁業、観光業などの主幹産業が大きな打撃を受けたため、国連WFPは12月からの3カ月間、市場が回復しつつあった地域で食糧購入用の現金を配布しました。この支援は特に弱い立場の人びとの食糧需要を満たし、また地域経済の活性化にもつながります。本支援を受けた被災者は50万人以上にのぼります。



母子栄養支援

生後6カ月～5歳未満の子どもおよび妊産婦14万1,000人に、栄養不良を防ぐための栄養強化食品を提供しました。



地域復興のための現金支援

道路や建物等、台風により被害を受けた地域資産を復旧させると共に、被災者の生計を立て直し自立を促すため、それらの修復・整備作業に参加した人たちに労働の対価として現金を支給しました。参加者は、がれきの撤去や道路の復旧作業、堤防作り、野菜農園の整備など様々な作業に従事。本活動を通じて18万人が支援を受けました。



物流網および通信網の整備

国連WFPは緊急時、国連機関やNGOの支援物資の物流や情報通信網の整備を先導する役割を担っており、物資の陸・海・空における輸送や、一時保管のための倉庫提供、電話や無線、インターネットなどの通信環境の整備を行いました。



今年のクリスマスには美味しいものを～国連WFPの現金支援を受けて

私の名前はマリベル・マラヤ、カリガラ出身の25歳です。台風が襲ったとき、私は妊娠3カ月でした。当時6歳の子どもと母親は別の場所に住んでいたのですが、道路が壊滅的だったため、被災後2週間以上、2人の安否が分かりませんでした。その後、生存が確認できたときは、心から安堵しました。国連WFPからいただいた現金は、食糧購入に充てます。もし余りが出たら、母親の家の再建に使いたいです。今年の年末はクリスマスどころではありませんが、もし少しでも余裕があれば、ささやかなお祝いとして何か美味しいものを買ってあげたいと思っています。



エチオピア 復興支援



- ・事業期間:2012.1-2015.6(予定)
- ・事業地域:食糧不足、栄養不良が深刻な地域
- ・対象人口:3,734,264人

2011年の調査によると、エチオピアの子どもの10%が急性栄養不良に陥っています。また、同国では、2013年3月以降、雨不足による不作、物価の高騰が続いたことから食糧不足が悪化し、緊急食糧支援が必要となりました。これに対し、国連WFPは、200万人以上の人びとに穀物、豆類、植物油を配給し、そのうち最も脆弱と考えられる約35%の人びとには、加えて栄養価の高い「スーパーシリアル」(トウモロコシと大豆のブレンド粉にビタミンやミネラルを加えた栄養強化粉)を提供しました。また、2013年7月からは、25万人近くを対象に食糧購入のための現金支給を開始しました。さらに、栄養不良の6~59カ月の乳幼児と、妊婦および授乳中の母親および100万人に対して栄養強化支援を行いました。

この数カ月で健康になりました



私の名前はデュート・イルトロといいます。20歳です。3歳に満たない子どもが二人います。3カ月前から国連WFPの食糧支援を通して、スーパーシリアルと油を毎月受け取っています。食糧は、隣のウダッサレビ保健センターまで受け取りに行っています。この支援のおかげで、ここ数カ月で以前よりも健康になった気がします。実際、栄養のある食糧を摂取していることで、食糧支援を受ける前は、私の腕の太さは21cmでしたが、もうすぐ目標の23cmになりそうです。

私の夫は自作農で、トウモロコシと小麦を育てています。しかし、次の収穫期まで家族が消費する分を育てるのがやっつです。毎日トウモロコシパンとインジェラ(エチオピアの主食)を食べていますが、卵や肉は、夫が現金収入を得られた時しか食べられません。

私のような貧しい家族は、十分な食糧を得るのは困難ですが、支援によって栄養のあるものを食べることができて、感謝しています。

シエラレオネ 学校給食プログラム



飢餓と栄養不良は、依然としてシエラレオネでの課題となっています。小学校への入学率は62~69%で中退率も高く、特に10代前半の女子生徒ではそれが顕著です。国連WFPは、就学率の最も低い、貧しい地域の小学生に対し、毎日、穀物や植物油からなる温かい食事を提供しています。また、貧しい家庭の女児の通学を促進するため、「持ち帰り食糧」を提供しています。これは、子どもがきちんと学校に通えば、家族の分の食糧を受けられるというもので、食糧不足が深刻で中退率が高い地域の、4年生から6年生2,057人の女子児童が米と植物油を受け取りました。この結果、女子児童を含めた就学率は約5%向上し、授業に集中している児童の割合は約37%の向上が見られました。学校給食支援は、教育へのアクセスや社会保障、そして栄養改善において重要な役割を担っています。

- ・事業期間:2013.1-2014.12(予定)
- ・事業地域:特に食糧不足や栄養不良の状況が深刻な西部地域の11の州
- ・対象人口:1,639校における236,085人(うち持ち帰り食糧対象者2,057人)

セネガル 学校給食プログラム

- ・事業期間:2012.1-2016.12(予定)
- ・事業地域:就学・修了率が著しく低く、食糧不足や栄養不良の度合いが高い11地域
- ・対象人口:2,026校における約297,403人

2012~2013年の収穫は全般的に改善しましたが、洪水、害虫の蔓延や天候不良に起因する不作は、セネガルの11地域において食糧不足の危機を引き起こしました。2013年の調査によると、セネガルの人口の18%にあたる220万人が食糧不足に陥っています。また、慢性的な栄養不良は人口の16.5%にのぼり、40万人以上の子どもたちにも影響を及ぼしています。国連WFPは食糧危機が特に深刻な地域において学校給食支援を行っています。本支援が実施されている学校においては、退学率が、給食が提供されていない学校に比べて2.5%と10%近く低く、就学率は継続的に99%以上という高い成果が見られました。給食で配給される食糧は、最大限、現地調達する試みがなされ、現地の小規模農家から購入した約50トンの米が使用され、地域経済に貢献しました。



ブルンジ 学校給食プログラム

- ・事業期間:2011.1-2016.12(予定)
- ・事業地域:6州(北部州、西部州)
- ・対象人口:281校における211,298人



15年にわたる一連の紛争が終結した今も、ブルンジにおける政情は安定しておらず、人びとは食糧危機に瀕しています。ブルンジの世界飢餓指数は、東アフリカおよびサハラ砂漠以南のアフリカにおいて最下位の水準になっています。栄養不足が深刻な課題となっている同国において、国連WFPは、穀物、豆、植物油、塩で調理した温かい給食を毎日子どもたちに配給しています。時には地域の農家から提供された野菜が添えられ、より栄養価の高い給食となっています。本支援を通じて、進級試験の合格率は67.7%から71.3%に改善しました。その一方、一部地域においては金鉱で働くために男児の一部が退学したこと等に起因し、就学率や退学率に大きな成果は見られなかったため、今後に向けた課題となりました。



● 送金国
(詳細はP.05参照)

ネパール 母子栄養支援



- ・事業期間:2013.1-2017.12(予定)
- ・事業地域:栄養状況が著しく悪く最も優先度が高かった1地区
- ・対象人口:5,904人

10年間紛争が続いたネパールは依然として不安定な政情にあり、世界で最も貧しく、低開発の国の一つです。栄養不良の割合が高く、国民の15%は食糧不足に苦しみ、5歳未満の子どもの41%は年齢の割に低身長で、29%が低体重です。

そのような中、国連WFPは2013年、妊婦や授乳中の女性、2歳未満の子ども約5,900人に、保健センターを通じて小麦と大豆からなる栄養強化粉189トンを配給しました。また同時に、栄養教育と幼児の栄養摂取に関するカウンセリングも実施しました。

国連WFPの支援が実施されたのは、資金不足の関係で、当初予定していた9地区のうち最も優先度が高かった1地区のみです。9地区で低体重、貧血、発育阻害に陥っている子どもは、いずれも全国平均を上回っているため、支援が特に必要とされています。

ブータン 学校給食プログラム

- ・事業期間:2008.1-2013.12
- ・事業地域:農村部、特に山あいの遠隔地で食糧難に見舞われている地域
- ・対象人口:227小学校における36,492人

ブータンの国民の多くは、道路が未整備の山あいの農村で生活しています。雨季になると、洪水や地滑りに見舞われ、場所によっては一年の半分、道路が閉鎖されてしまいます。このような環境の中、多くの子どもたちは長時間、森林や川を越えて通学しなくてはならず、それが農村部における初等教育の普及を妨げています。



このような状況に対し国連WFPは、227の小学校(うち70%が遠隔地に立地)を対象に給食を提供しました。朝と昼の2回提供される給食には、お米に加えて、ひよこ豆や植物油が含まれます。給食の食材は約90%が現地で調達され、地域経済に貢献しました。

継続的な支援により、子どもたちの就学率は飛躍的に向上し、男女ともに95%を超えるまでになっています。

なお、2019年以降、ブータン政府が国連WFPの支援が無くとも給食支援を実施できるよう、政府機関の能力強化・人材育成にも注力しています。

将来はお医者さんになりたい



僕の名前はペンバです。12歳です。ダガナ地方のプエンソングン小学校に通っています。僕の家庭はとても貧しくて、大家族なので両親は僕たち子どもたちを学校に通わせるどころか、十分に食べさせ、服を買うこともできませんでした。9人いる家族のうち1人の姉は6年生まで学校に通いましたが、お金が十分になくて辞めてしまいました。

僕が8歳になったとき、両親が、学校に通えば給食が出て、寮に入ることができ、勉強できるということを聞き、僕を学校に通わせてくれることになりました。学校で給食が出なければ他の子たちのように学校に通うことはできなかったと思います。大きくなったらお医者さんになりたいです。支援のおかげで無料で学校に通えて食事を食べることができる。恩返しをしたいです。

ミャンマー 学校給食プログラム

- ・事業期間:2013.1-2015.12(予定)
- ・事業地域:北ラカイン州、チン州、シャン州、マグウェー州の4州
- ・対象人口:1,791校における208,502人(給食約30,895人、持ち帰り食糧約177,607人)

ミャンマーでは人口の26%が貧困に苦しんでおり、そのほとんどが農村部に住む人びとで占められます。約14万人の国内避難民が発生した2012年の西部・ラカイン州における民族間の衝突による影響は長期化しており、各地での飛び火被害も見られました。近年、教育の面では改善が見られますが、2010年の調査によると、小学校の就学率は88%と高かったものの、修了率は54%と低い数値でした。

このような中、国連WFPは2013年、前年に比べて4倍の規模の栄養強化ビスケットを幼稚園及び小学校で配布しました。また、深刻な食糧不足に陥っている地域においては、80%以上の授業に出席している生徒に対して持ち帰り用の米を配布しました。その結果、学校給食が提供される学校においては、90%以上の出席率が保たれるとともに、親が子どもたちを学校に通うことを奨励する動機付けとなりました。また、女児の就学率の向上にも貢献しました。



ラオス 学校給食プログラム

- ・事業期間:2012.1-2015.12(予定)
- ・事業地域:ラオスの最も貧しい山岳地域
- ・対象人口:1,735校における202,341人

過去20年、ラオスの都市部では目覚ましい経済成長が見られますが、山岳地域の貧困層は飢餓から抜け出せない状況です。ラオスでは、5歳未満の子どものうち44%が栄養不良のため発育阻害に苦しんでおり、東南アジアの中でもとりわけ深刻な状況です。国連WFPは、1,700校以上のおよそ20万人の子ども達を対象に学校給食プログラムを実施しています。子どもたちは、穀物、油、砂糖で作られる、栄養が強化された朝食を受け取ります。また、自宅が遠隔地にあるため寄宿せざるを得ない子どもたちに対しては、両親が学校に子どもを通わせる動機となるよう、持ち帰り食糧としてお米の配給を行っています。この結果、男女ともに、就学率および進級試験合格率に向上が見られています。



企業・団体の皆様からのご支援

2013年度、国連WFPは539社・団体の評議員を含む多くの企業・団体の皆様からご支援をいただきました。皆様からのご支援があるからこそ、国連WFPはもっとも必要とされる人びとに食糧を届けることができます。皆様のご厚志に感謝申し上げます。

2013年度、100万円以上のご支援をいただいた企業・団体の皆様

(順不同)

株式会社ファミリーマート	伊藤忠食品株式会社
日清食品株式会社	日本台湾農産缶詰協議会
日本KFCホールディングス株式会社	日立健康保険組合
株式会社高島屋	株式会社オリエンタルランド/OLCグループ こどもスマイル基金
株式会社明光ネットワークジャパン	有楽製菓株式会社
立正佼成会 一食平和基金	伊藤忠商事株式会社
日清食品ホールディングス株式会社	宗教法人無二亦寺
宗教法人真如苑	株式会社オリエントコーポレーション
株式会社セブン&アイ・ホールディングス	株式会社日清製粉グループ本社
株式会社静鉄ストア	森永乳業株式会社/森乳スマイル倶楽部
社会福祉法人テレビ朝日福祉文化事業団	株式会社ブルボン
三菱商事株式会社	江別製粉株式会社
株式会社カスミ	エイベックス・グループ・ホールディングス株式会社
株式会社カネカ	株式会社ハローデイ
社会福祉法人読売光と愛の事業団	三菱UFJニコス株式会社
宗教法人松緑神道大和山	三菱食品株式会社
フェリシモ基金	立正佼成会 佐倉教会
リンベル株式会社	シティグループ・ジャパン・ホールディングス株式会社
株式会社三菱東京UFJ銀行	昭和産業株式会社
三菱東京UFJ銀行社会貢献基金	ハウス食品グループ本社株式会社
三井住友カード株式会社	ファンケルクラシック基金
株式会社ディノス・セシール	ユニーグループ・ホールディングス株式会社
公益社団法人日本プロゴルフ協会	株式会社ボストン コンサルティング グループ
株式会社日本アクセス	株式会社河本総合防災
株式会社中村屋	シオノギ社会貢献支援会
一般社団法人日本フードサービス協会	丸中製菓株式会社
株式会社ヒットマン	株式会社F&Cホールディングス
株式会社クレディセゾン	株式会社エコス
コネクシオ株式会社	株式会社セブン&アイ・フードシステムズ
国連WFPサポーターズなごや	株式会社ビバック
株式会社朝日ネット	株式会社ファイネット
キッコマン株式会社	株式会社西原商会
特定非営利活動法人TABLE FOR TWO International	

*このほかにも多くの企業・団体の皆様にご支援を頂戴しております。厚く御礼申し上げます。

国連WFPコーポレートプログラムでのご支援

民間企業の皆様と国連WFPが両輪となり、協働で社会における公的役割を果たしていく、新しいパートナーシップの在り方です。

2013年度は4社とパートナーシップを締結しました。

株式会社カネカ

ファミリーマート株式会社

日清食品ホールディングス株式会社

三菱商事株式会社

レッドカップキャンペーンでのご支援

国連WFPは、多くの方に飢餓の状況を知っていただき、1人でも多くの飢餓に苦しむ子どもに学校給食を届けるため、2011年11月よりレッドカップキャンペーンを実施しています。これは、企業の皆様に、給食を入れる赤いカップをモチーフとしたマークを商品につけて販売し、売上の一部を寄付していただく取り組みです。キャンペーンサイトや、Facebook等で多くの方に賛同・協力いただけるよう、支援を呼びかけています。2013年度は17社にご協力いただきました。貴重なご支援に感謝申し上げます。



2013年度、ご協力いただいた企業の皆様

食品関連企業



食品以外の企業



日清食品株式会社「日清チキンラーメン」
株式会社湖池屋「ポリンキー あっさりコーン」「ポリンキー お好みソースあじ」
キュービー株式会社 キュービーベビーフード「かむかむ赤ちゃん」シリーズ(全7種類)、「ハッピーレシビ」シリーズ(全16種類)
株式会社ファミリーマート FamilyMart collection「きつねうどん」「天ぷらそば」「チョコクランベリー」「ホワイトリングハムチーズ」
株式会社ロッテ「ガーナリップル」
株式会社真誠「煎りたて一番」シリーズ、「搗りたて一番」シリーズ
ハウス食品株式会社「とんがりコーン」シリーズ
マルイ食品株式会社「チキン南蛮」シリーズ、「ササミフライ(チーズ入り)」シリーズ、「チキンナゲット(卵・牛乳不使用)Fe強化」シリーズ
株式会社セブン&アイ・ホールディングス「セブンプレミアム」「セブンゴールド」シリーズ
カンロ株式会社「カンロ飴」
株式会社ブルボン「オリジナルビスケットシリーズ」
プリマム株式会社「とろ〜りデミたまハンバーグ270g(3個)」
.....
株式会社明光ネットワークジャパン「明光義塾オリジナル教材」
株式会社グラム/Q-pot.「ランドセル」
株式会社ビバック「クレールなど」
株式会社東邦銀行「投資信託商品(新興国に投資するファンド)」
株式会社ディノス・セシール「家具・収納通販誌Lysa Home(リーサホーム)」



レッドカップキャンペーン専用ウェブサイト

www.redcup.jp

レッドカップキャンペーン Facebook ページ

www.facebook.com/wfp.redcup

支援を広げるための取り組み

多くの皆様に世界の飢餓の問題や国連WFPの支援の活動について知っていただき、支援の輪を広げるための取り組みを2013年も実施いたしました。皆様と力を合わせて、飢餓の解決に向かって前進していきたいと願っています。

ACジャパン支援キャンペーン 「給食でエベレスト」

国連WFPの学校給食プログラムが、ACジャパンの支援キャンペーンとして選定され、2013年7月1日から2014年6月30日の期間、公共広告がテレビ、新聞、交通広告等を通じて全国で展開されました。本広告には、子どものころ国連WFPの学校給食を食べて育ち、2008年に17歳でエベレスト登頂を果たしたナパール人女性の登山家、ニムドマ・シェルパさんが登場し、子どもたちの健全な発育を助け、教育の機会を広げる学校給食プログラムの意義が伝えられました。



©ACジャパン

キャンペーン開始の際にはシェルパさんを日本に招待し、メディアと企業支援者を対象に広告の発表会およびトークショーを実施。シェルパさんは連日インタビューも受け多数の媒体で紹介されました。また企業等でシェルパさんに学校給食の効果を自らの経験を通して伝えていただき、活動の理解促進を図りました。



©JAWFP

竹下景子さんのセネガル訪問

2月上旬、国連WFP協会親善大使の竹下景子さんが、干ばつ、紛争、食糧価格高騰等の影響で食糧危機が発生した西アフリカ「サヘル地域」の国のひとつ、セネガルを訪問しました。竹下さんは食糧危機に見舞われた地域等を訪れ、母子栄養支援や学校給食支援等を視察しました。帰国後はメディア、イベント等を通じて現地の状況を伝え、協力を呼びかけました。



撮影 関口照生

竹下さんからのメッセージ

セネガルを訪れ、多くの人と交流することで、私は、まず自分が一歩踏み出すこと、それによって救える生命があること、その大切さを改めて知りました。それと同時に、支援は継続することが何より重要と実感しました。国連WFPが支援活動を続けていくには、皆様のご理解とご協力が不可欠です。日本も含め、世界中の子ども達の今と未来のために、皆様のご支援をよろしくお願いいたします。



撮影 関口照生

国連WFP協会親善大使 竹下 景子

WFPウォーク・ザ・ワールド for アフリカ

「WFPウォーク・ザ・ワールド for アフリカ」を5月19日(日)に横浜みなとみらいで開催しました。横浜で6月に催された「第5回アフリカ開発会議」に向けて、アフリカの子どもたちを応援するために実施、参加費の一部はアフリカにおける学校給食プログラムへの募金としました。ゲストはケニア出身の男子マラソンオリンピックメダリストのエリック・ワイナイナさん。当日は天候にも恵まれ3,593人が参加、参加費からの募金は335万600円になり、11万人以上に給食を届けることができました。



©JAWFP

WFPエッセイコンテスト

「給食(お弁当)の思い出」をテーマに「WFPエッセイコンテスト2013」を開催しました。全国から12,410通の作品が寄せられ、最優秀賞にあたるWFP賞には、東京都足立区立洲江中学校2年、大竹葉月さんの作品が選ばれました。10月16日の「世界食糧デー」には国連大学で表彰式を開催。国連WFP協会顧問の辰巳琢郎さんや湯川れい子さんも参加するなか受賞者の方々をお祝いし、竹下景子さんによるWFP賞の朗読も上映しました。本コンテストでは、応募1作品につき給食1日分にあたる30円が寄付協力企業3社よりそれぞれ寄付され、計111万6,900円(1社あたり37万2,300円)となりました。



©JAWFP

役員一覧

会長	安藤 宏基	日清食品ホールディングス株式会社 代表取締役社長・CEO
理事	蟹江 雅彦	特定非営利活動法人国際連合世界食糧計画WFP協会 元専務理事
同	スティーブン・アンダーソン	WFP 国連世界食糧計画 日本事務所 代表
同	関口 泰衛	特定非営利活動法人国際連合世界食糧計画WFP協会 事務局長
同	本田 亮	クリエイティブディレクター／環境マンガ家
同	松江 勝美	公益財団法人横浜市国際交流協会 元常務理事
同	三代 裕子	総務省 行政相談委員
同	御立 尚資	株式会社ボストン コンサルティング グループ 日本代表
監事	樫谷 隆夫	公認会計士・税理士
同	齋藤 史郎	社会福祉法人横浜市社会福祉協議会 顧問

2014年7月1日現在



発行 特定非営利活動法人 国連WFP協会

〒220-0012 横浜市西区みなとみらい1-1-1 パシフィコ横浜 6F

ショクリョウ ハイキュウ

0120-496-819

受付時間 9:00~18:00(年末年始を除く毎日)

※携帯電話・PHSからもつながります。

www.wfp.org/jp